

## 第4回運転責任者諮問委員会 議事要旨

1 日 時 平成21年9月 2日(水) 11:00~12:10

2 場 所 日本原子力技術協会 特別会議室

### 3 議 題

- (1) 平成21年度第1回、2回 原子力発電所運転責任者判定業務の実施状況について
- (2) 合否判定へのメディカルチェックの必要性について
- (3) 原子力発電所 運転員の教育・訓練状況の情報発信について

### 4 出席者(敬称略、順不同)

(委員) 木村委員長、森本委員、市瀬委員、副島委員  
(原技協) 藤江理事長、鈴木専務理事、成瀬理事部長、石川最高顧問  
(事務局) 青GL、阿部、浦野、米津

### 5 議事概要

#### (1) 平成21年度第1回、2回 原子力発電所運転責任者判定業務の実施状況について

事務局より、第1回及び第2回判定の実績及び独立性、公平性、公正性の観点から見た状況、並びに運営委員会の議事概要の説明を行った。

主な質疑内容等は以下のとおり。

筆記試験で出題問題を選定はどのようにしているのか。

問題は約50区分に分類しており、偏らないように事務局で公表問題と非公表問題を合わせて60問、選んでいる。また、現在問題の重要度、難易度の設定を検討している。

問題選定時に難易度を考慮した後は、事務局の恣意が入らないように、ランダムに選べるようにしたほうが良い。工夫すると良い。

検討する。

筆記試験の採点にあたっては答案用紙の受験者氏名をマスクする等、採点者に受験者の名前が分からないようにしているのか。大学入学試験などは必ず、答案用紙と受験者氏名の切り離しを実施している。

(氏名と答案用紙が入れ替わると大変な事になるが、実施している)

第1回、2回は実施しなかったが、マスキング等の対応を検討する。

筆記試験は約1100問の公表問題と非公表問題から出すと言うことだが、割合はどうか。また、誤解答状況はどうなっているのか。

ホームページ公表問題と非公表問題(あるいは公表問題に大幅な変更を加えたもの)の割合は約75%対25%である。

誤解答状況は、公表問題と非公表問題(あるいは公表問題に大幅な変更を加えたもの)で

第1回: 約63% : 約37%

第2回: 約74% : 約26% であった。

今回の結果を見ると、問題公表は試験結果に影響を与えないと考えられる。問題公表はうまく機能していると判断できる。

第1回、2回合格率は共に100%であったという事であるが、以前の制度ではどうだったのか。

過去3年では約85%~95%であるが年4回の内には100%もある。またそれ以前は100%だった時も何度もある。

試験で落とすことが目的ではないが、落ちることがあるというのは受験者に良い意味で緊張感を与え、勉強の励みにもなる。口答試験委員の緊張感も生じる。

今後の推移を見て問題の難易度等を検討していきたい。

口答試験は代表質問者が採点し、最終的に口答試験委員の合議で採点とあるが、試験委員全員に採点をしてもらいそれを集約して点数を決めるほうが良いのでは。

5点満点で試験委員によって5点と3点をつけた場合、結果に重大な影響を与える。

口答試験委員で打合せを行なった標準回答を用意しているので、大きく変わることは無いと思うが、今後検討していく。

## (2) 合否判定へのメディカルチェックの必要性について

事務局より、説明を行った。

(説明内容) メディカルチェックは電気事業者が行うのが適当であり、日本原子力技術協会としては合格証の交付にあたり、電気事業者に運転責任者の身体面、精神面について配慮して選任するよう要望すると共に、電気事業者との意見交換の場を利用して注意喚起を行うこととする。

主な質疑内容等は以下のとおり。

運転責任者とパイロットでは置かれている状況が異なっているのは良く分かった。

機長と副操縦士の権威勾配がありすぎると緊急時などにうまく副操縦士の役割が果たせないことも有る。

運転チームにおいても権威勾配が大きいと、下から物が言えなくなることも考えられる。電気事業者にも精神的なことを含めて注意してもらいたい。

## (3) 原子力発電所 運転員の教育・訓練状況の情報発信について

事務局より、説明を行った。

(説明内容) 教育・訓練状況は、電気事業者等がホームページやパンフレットで情報発信を行っているが、日本原子力技術協会としては中長期ビジョン(今後5年間の取組み)の中に「各発電所の訓練状況を調査した上で標準ガイドブックを作成し、各社の訓練プログラムをより充実したものとする」を記載しており、これに基づいて取組み、前者とは異なった視点から情報発信することとする。

主な質疑内容等は以下のとおり。

ホームページに掲載して情報発信することは良いことであるが、魅力の無いホームページは見る気がしない。冒頭に強いメッセージを入れたり、分かり易くする工夫をすべきである。大学でデザイナーに依頼して作成した良いホームページ例の紹介があった。

以 上